



第2回 福井空港ビル再整備構想検討委員会

令和6年9月11日
福井県

目次

議題1.第1回委員会の振り返り

議題2.ワークショップについて

第1回ワークショップの結果、概要

議題3.敷地内の施設レイアウトについて

3.1.現況施設の配置図

3.2.レイアウトの検討

議題4.空港ビルの機能について

4.1.空港ビルの現在の施設状況

4.2.空港ビルの例

4.3.空港ビルの機能について

議題1

第1回委員会の振り返り

1

第1回委員会の振り返り

議事 1 現状と課題について

- ・ 福井空港の概要
- ・ 福井空港の現状
- ・ 福井空港における課題
- ・ 福井県の取組について

○福井空港の概要や利用状況を確認

- ・ 定期便は無く、小型機やヘリの離発着が主
- ・ 学生のグライダーやライセンス取得の活動が盛ん
- ・ 防災ヘリ、県警ヘリ、ドクターヘリの活動拠点
- ・ 災害時の救援基地 など

- ・ 福井空港ビルの再整備に向けて

○検討対象と内容を確認

- ・ 検討する施設（空港ビル、エプロン、駐車場等）
- ・ 検討する内容（施設レイアウト、空港ビルの機能、空港ビル内のレイアウト）

1

第1回委員会の振り返り

議事 2 意見交換

○第1回委員会でいただいた意見（1/3）

【観光・ビジネス面での利用について】

- ・ 道路や新幹線の整備が進んでいく中、空からの利用についても議論していくとよい。
- ・ 既に小型ジェットが来ており可能性がある分野である。
- ・ 機体の駐機スポットと空港ビルが近く、駅からのアクセスも良いので福井空港はとても使いやすいが、運用時間が短いと感ずることもある。
- ・ 空港から目的地への移動について検討すべきではないか。

【空港に求める機能について】

- ・ 空港周辺は商業の中心であり地域的な魅力がある。 非日常的な空間として集客できると面白いのではないか。
- ・ 地元の方にとってもメリットがある施設としてどうにかできないか。
- ・ 全国的に事例の少ない空の駅を作り、観光地として売り出して認知度を上げてはどうか。

1

第1回委員会の振り返り

議事 2 意見交換

○第1回委員会でいただいた意見（2/3）

【防災面での利用について】

- ・ 空港は点の施設であり、道路などの線の施設よりも大規模災害時にも比較的早く復旧し、災害後の拠点となりうる重要な施設である。

【機能強化について】

- ・ 小型機はヘリコプターが離陸する際の風から影響受けるため、ヘリコプターの両サイドには駐機できない。
- ・ 現状の駐機スポットが拡張できれば小型機にとって利便性が上がる。
- ・ 格納庫が足りていない。多くの機体が格納庫のある駐機地を求めている。

1

第1回委員会の振り返り

議事 2 意見交換

○第1回委員会でいただいた意見（3/3）

【その他】

- ・ 建物の素材を見直してはどうか。木材にすればコストを抑えられたり、先進的な取り組みとなったりしないか。
- ・ 今は入ってはいけなさそうな施設であり、入りやすい外観の整備ができないか。
- ・ 地元に対して説明をしたり意見を聞いたりするのは大事だと思う。
- ・ 子ども向けに防災教育や空港の職業教育を行うことで、空港の役割を知らせることができる。
- ・ 空港の名称変更や愛称の設定をしてはどうか。

1

第1回委員会の振り返り →

本日の検討事項

【検討対象】（第1回資料P20より）

○エリア

- ・既存敷地内（※滑走路の延伸や拡張は対象外）

○施設

- ・空港ビル、エプロン、駐車場等

今回検討（議題3）

- ・レイアウトに関連する課題
- ・レイアウト検討の方針
（→レイアウト案を検討）

○検討内容

- ・敷地内の施設レイアウト
（エプロンと駐機スポット、駐車場、ビル建替え位置）

- ・空港ビルの機能（必要性や規模）
（例：会議室、事業者用貸別、災害・救護スペース等）

- ・空港ビル内のレイアウト

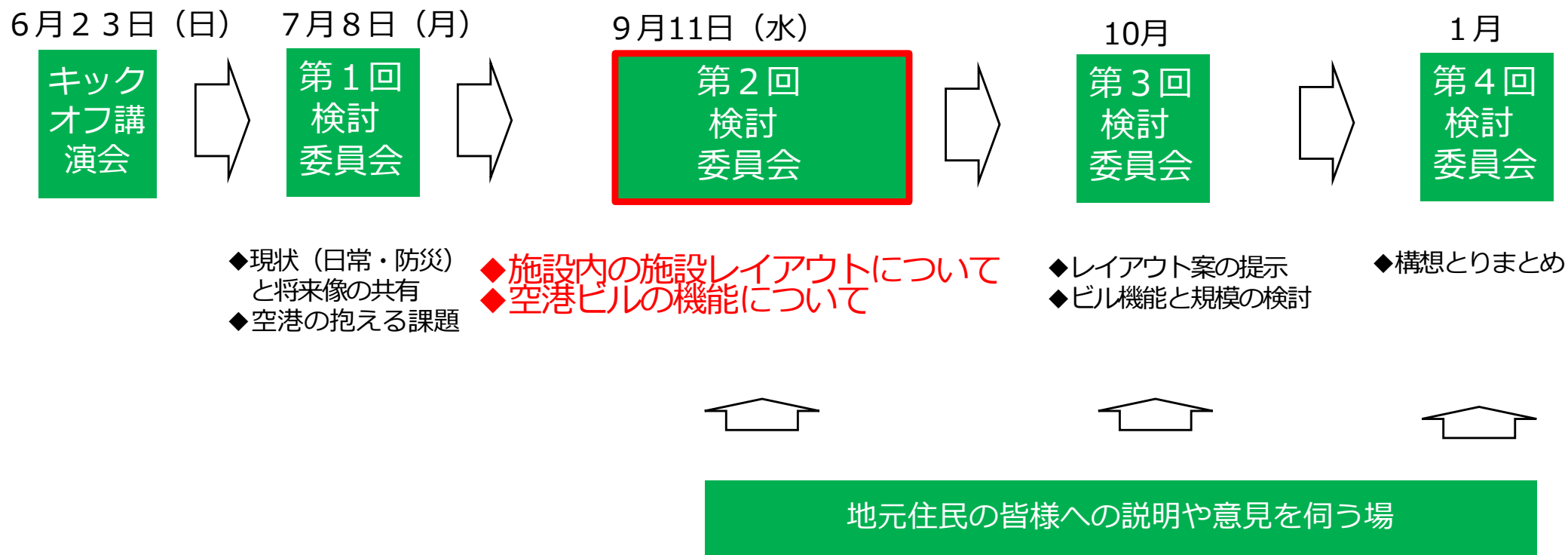
今回検討（議題4）

- ・一般的に空港にある施設とは？
- ・現在の利用の継続
- ・現在の利用の拡充
- ・考えられる新たな利用
- ・そのために設ける機能（施設）

1

委員会スケジュール

委員会スケジュール（令和6年度）



議題2

ワークショップについて

2

ワークショップの概要

ワークショップ名称：福井空港利活用に関するワークショップ
～福井空港ビルを“楽しく！”するワークショップ

第1回（9月4日）
18：30～20：30

- ・ 空港の概要把握
- ・ 公共空間の事例を学ぶ
- ・ 空港に期待する機能についてアイデア出し

第2回（10月17日）
19：00～20：30

- ・ コンセプトと必要な機能のアイデア出し
- ・ 空港ビル再整備の方向性の整理

第3回（1月14日）
19：00～20：30

- ・ ブラッシュアップ

第4回（3月頃）
19：00～20：30

- ・ 成果発表

目的 福井空港ビルの活用を考える 講師 福井工業大学 三寺潤教授 丸山晴之准教授

対象者 地元住民の方々

【実施内容】

日 時 : 9月4日(水) 18:30～20:30

参加者 : 周辺地元の代表者の方
地域の事業者の方
まちづくり等の検討会に参加実績のある方 など

内 容 : 現地見学
大学院生をファシリテーターとして
3グループに分かれて意見交換を実施

2

第1回ワークショップについて

【グループワークで出た主な意見】

○空港に求めるもの

- ・ 防災機能、災害備蓄などの機能
- ・ 先端技術（空飛ぶクルマ等）、実証実験等の中としての活用
- ・ 飲食店等（地域飲食との連携等）
- ・ 子どもの遊び場（修学機能）
- ・ 地域に不足する機能の整備、地域のコミュニティスペース等
- ・ バスターミナルなど陸上交通（二次交通）の強化

上記の内容について、利用者の年齢層による違いや、地域の中での役割などの視点から意見が出された。

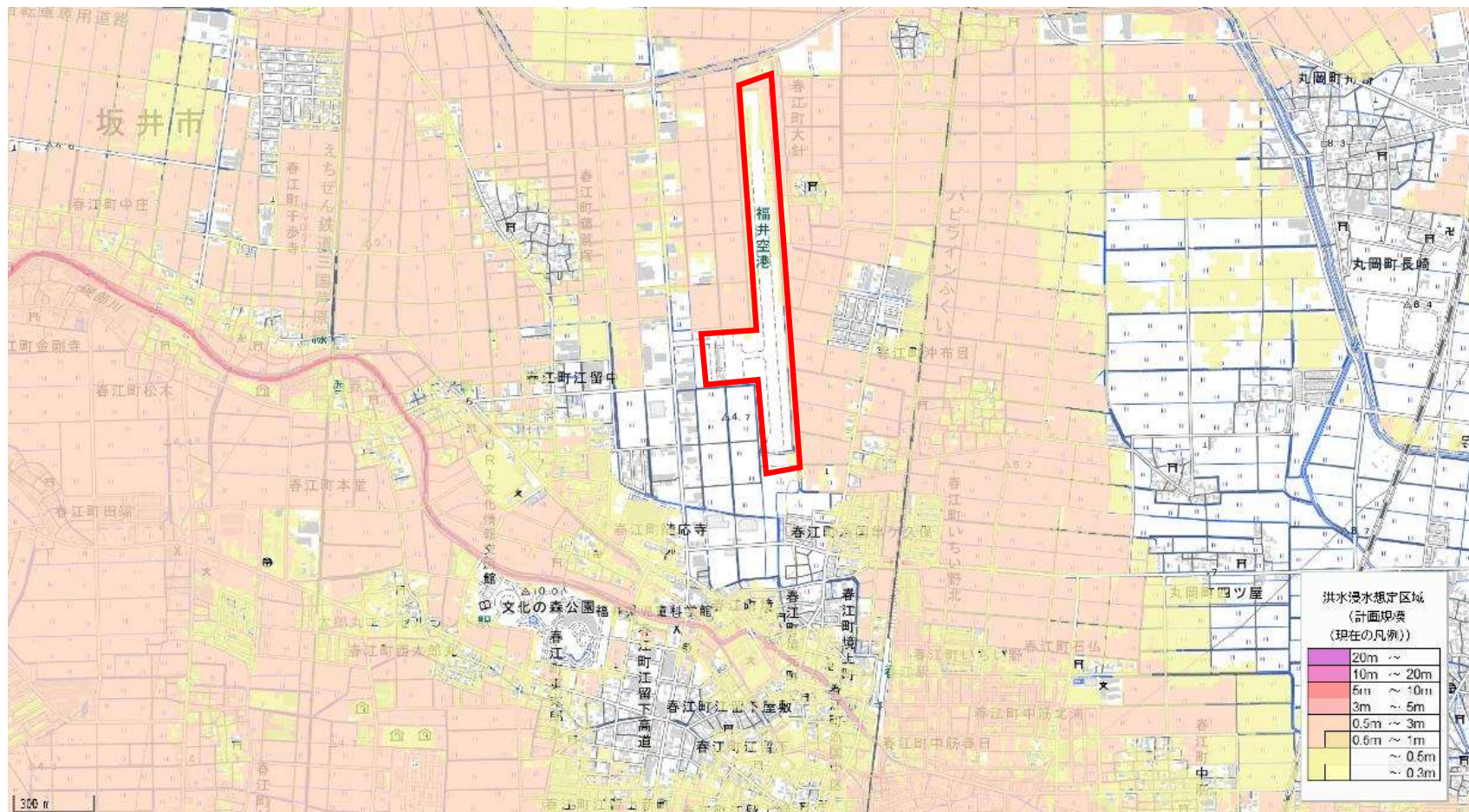
2

ワークショップ資料より（洪水ハザードマップ）

坂井市（春江地区）洪水・土砂ハザードマップより

洪水浸水想定区域は、

- ①想定最大規模降雨（1000年に1回程度の規模の降雨）と
- ②計画規模降雨（30年～150年に1度の規模の降雨）の条件がある
- （②の場合、福井空港ターミナル地区は洪水ハザードマップ上冠水しない）



ワークショッップ資料より（周辺施設）

福井空港周辺



車で約25分

車で約5分

徒歩で約25分

周辺には、商業施設や住宅街、企業の事業所などが数多く立地する

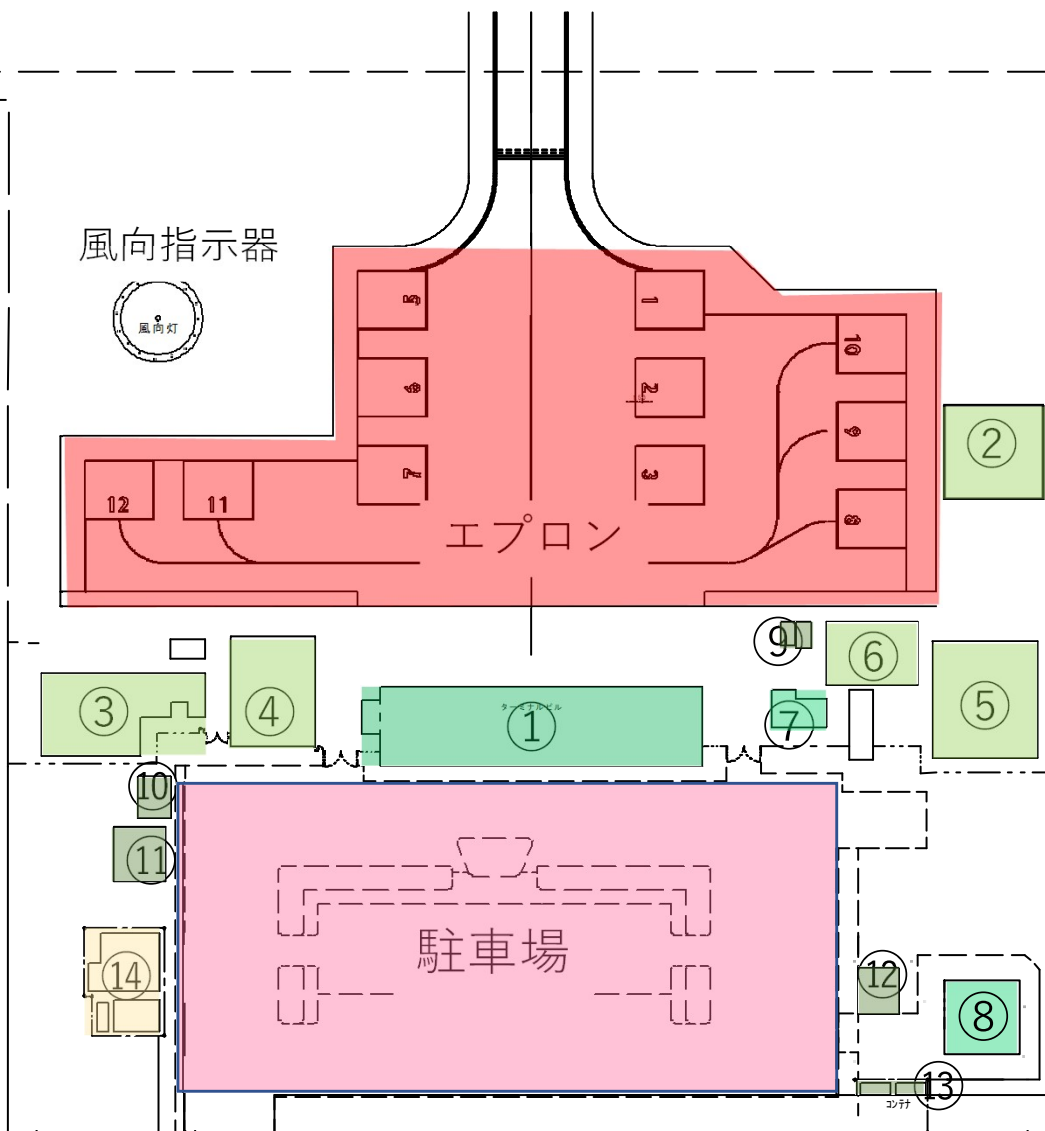
議題3

敷地内の施設レイアウトについて

3.1

現況施設の配置図

【現在の施設】



	施設名称	所有者	使用
①	空港ビル	福井空港㈱	
②	格納庫	福井空港㈱	民間貸与
③	庁舎・格納庫	福井県警察	県警ヘリ
④	格納庫	福井県（地域医療課）	ドクターヘリ
⑤	格納庫	福井県（危機対策・防災課）	防災ヘリ
⑥	格納庫	民間	民間
⑦	電気局舎	福井県（空港事務所）	
⑧	給油施設	福井県（空港事務所）	
⑨	車庫	民間	給油車両
⑩	車庫（倉庫）	福井県（空港事務所）	
⑪	倉庫	福井県（空港事務所）	
⑫	車庫	福井空港㈱	給油関係
⑬	倉庫（コンテナ）	福井県（地域医療課）	防災医療
⑭	宿舎・研修等	日本学生航空連盟	日本学生

3.2

敷地内の施設レイアウト 検討にあたっての課題および検討方針

課題	検討方針
① 現空港ビル老朽化。築58年経過	空港運用を止めずに、新規ビルを整備
② エプロンが狭いため、駐機スポットの数が十分でない。 また、ヘリの駐機スポットとしてはややサイズが小さい。	エプロンおよび駐機スポットを拡充 (福井豪雨や能登半島地震での実績を元に検討) (スポットサイズの現状：14m×12m) (20m×20mのスポット枠もエプロンに描く)
③ 防災ヘリの事務所と格納庫が離れている。 また、防災ヘリと県警ヘリ・ドクターヘリの事務所相互も離れている。	防災関係の格納庫、駐機場を一定のエリアに集める
④ 小型固定翼機がヘリと混在しているため、離発着するヘリの風で悪影響を受けてしまう。	小型機とヘリは駐機エリアをできるだけ分ける。(平常時) ・小型機：南側 ・ヘリ：北側
⑤ ①,②,③の課題に対応するためには、現駐車場エリアの縮小が必要となる。	必要台数を確保する。 通常最大60台程度(空港関係者：管理者＋入居者) 【参考】現状の駐車可能台数は146台
⑥ 県民の利用が少なく、親しまれていない。	別途実施するワークショップでの議論を、委員会でさらに深める (その他、県民向けイベントは引き続き開催)

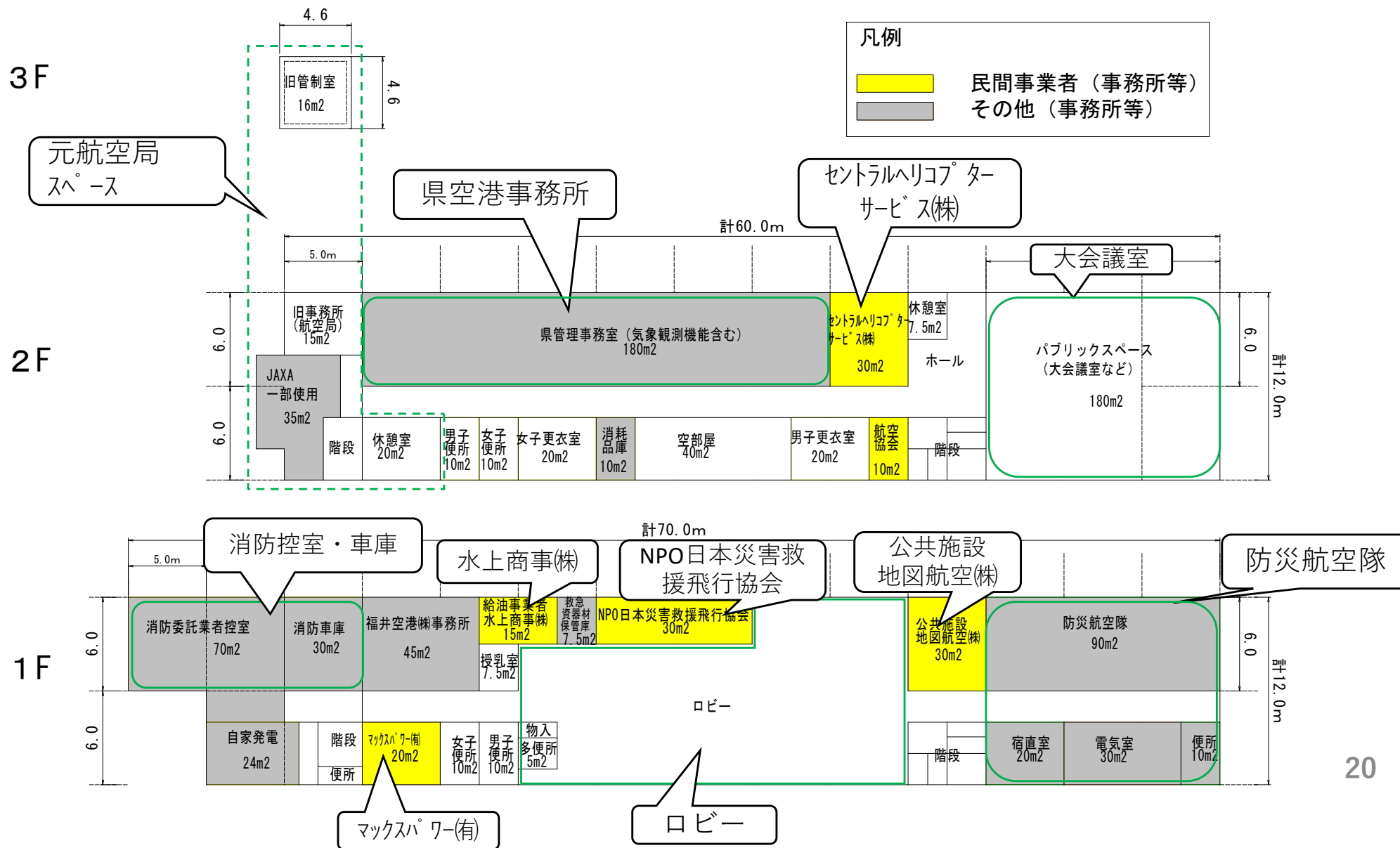
議題4

空港ビルの機能について

4.1

空港ビルの現在の施設状況

現況施設入居状況は以下の通り。



4.2

空港ビルの例

		事例 1 【管理機能のみ】	事例 2 【管理機能＋ターミナル機能】	事例 3 【管理機能】 ＋【ターミナル機能】＋【商業機能】
空港管理機能 (事務室等)		○	○	○
空港関連業務機能 (空港消防・給油・気象観測)		○	○	○
旅客取扱機能 (出到着ロビー・搭乗待合室・ バゲージクレーム、売店等)		－	○	○
入居機能 (テナントスペース)		－	○	○
共有スペース、その他 (規模の大きい飲食・店舗、 多目的ホール等)		－	－	○
他空港の 例				
	福井空港	岡南飛行場 岡山空港が昭和63年開港（定期便）	天草空港	県営名古屋空港
市人口	344,067 (坂井市＋福井市)	712,940 (岡山市)	102,816 (天草市＋上天草市＋苓北町)	2,322,143 (名古屋市)
立地（距離）	福井駅から 約11km	岡山駅から約10km (バスで約40分)	天草市役所から約5km (車で約15分)	名古屋駅から約13km (直行バスで約25分)
定期便の有無	無	無	有（5便/日）	有（22便/日）
旅客数(R5年度)	－	－	44,437	937,096
着陸回数(R5年度)	4,623	5,103	1,646	20,116

4.3

空港ビルの機能について

【 福井空港にある施設 ①～③ 】

①空港業務（必須）	現況	①ロビー、会議	現況	②付加機能	現況	③テナント	現況
空港管理機能		旅客取扱機能		公開・情報機能		入居機能	
空港管理事務所	○	出発ロビー	△	展望スペース	○	事業所（※以外）	○
事務室	○	到着ロビー	△	展示コーナー	○	店舗	—
書庫・更衣室等	○	搭乗待合室	△	（展示情報の更新）		飲食店	—
空港関連業務機能		会議室 （多目的室）	○	（建物の材質やデザイン）			
空港消防機能※	○						
給油機能※	○						
気象観測機能	○						

①～③について意見交換

4.3

空港ビルの機能について（①ロビー、会議室等）

- ・現在のロビーは平時の地元住民向けのイベントやビジネスジェット利用者を受け入れるスペースとして利用されている。
- ・災害時や防災訓練では搬送患者の受入れにも利用されている。
- ・航空事業者等のヒアリングでは、福井に新幹線が開業しても行き来が不便な地域はまだあり、このような地域と福井の移動として航空機の利用が考えられるとの意見あり。
- ・これら複数の利用を想定したスペースを検討する。

【需要や可能性について意見交換】

- ・新幹線より早い移動の価値
- ・運用時間拡大の必要性
- ・新幹線開通後も不便な地域との移動の需要

機能・施設	考えられる利用形態
ロビー空間	・イベント(屋内) ・飛行免許の講習会等 ・入居者の会議 ・DMAT等の活動スペース ・災害時の物資仮置き ・〃 休憩 ・旅客の出発/到着/待合
搭乗待合室	
会議室 (多目的室)	

4.3

空港ビルの機能について（②付加機能）

- ・ 現在、2階のテラスを開港時間に合わせて開放し、航空機を自由に眺めることができる。
- ・ 屋上も、イベント時に限られるが開放している。
- ・ 1階のロビーには写真パネルや模型など、航空機や防災に関する展示をしているが、更新されていない。
- ・ 昨年度からフライトシミュレーターの体験やイベント限定の「ANA航空教室」「紙ひこうき教室」などを行っている。
- ・ これらの機能については、コンテンツの更新や実施主体のあり方も含めて検討していく。

【需要や可能性について意見交換】

- ・ 第1回ワークショップでの意見
- ・ 空の駅（空港と融合した道の駅）
- ・ 展示コンテンツの更新主体
- ・ 防災教育や職業教育の実施主体

機能・施設	考えられる利用形態
展望スペース	・ 一般開放／限定開放 ・ 航空機に関する展示 ・ 防災に関する展示 ・ 地域に関する展示 （外観や内装は基本設計で検討）
展示コーナー	
（展示情報の更新）	
（建物の材質やデザイン）	

4.3

空港ビルの機能について（③テナント）

- ・現在は福井空港(株)が所有するビルに各事業者や県事務所等が入居している。
- ・ビル内に入居しているのは空港関係者や航空関連事業者だけで、一般の方が立ち寄る店舗等はない。
- ・前面の幹線道路にはロードサイド店舗が数多く立ち並んでいるが、空港ビルの建物は道路から直接目視できない位置になる。

【需要や可能性について意見交換】

- ・民間企業による出店の可能性
- ・第1回ワークショップでの意見

機能・施設	考えられる利用形態
事業所 ※空港関連業務受託者を除く	・機体整備、航空事業 ・飲食 ・販売
店舗	
飲食店	

次回検討委員会について

【次回の開催日程】

第3回委員会 10月22日（火）

【議 題】

○レイアウト案の提示

○ビル機能と規模の検討

- ・ 10月17日WSからの提案
- ・ 規模について
- ・ 事業手法について